

分析

写真を活用して観察結果を比較し、考えをもつ

1 単元名 こん虫を調べよう（第3学年）

2 指導のねらい

見つけた生き物を撮影し、詳しく観察するとともに、見つけた場所とその生き物にはどんな関わりがあるかを分析できるようにする。

3 実践の内容

第3学年「昆虫を調べよう」〔全5時間〕（本時3／3時）

第1次（3時間）

【学習活動】

1 どのような場所にどのような生き物がいるか予想し、実際に探しに行く。

2 見つけた生き物の様子を観察し、見つけた場所が分かるように写真撮影を行う。

3 撮影した写真をもとに、生きものとすみかの関係を考えまとめる。

(1) 本時の学習の流れ

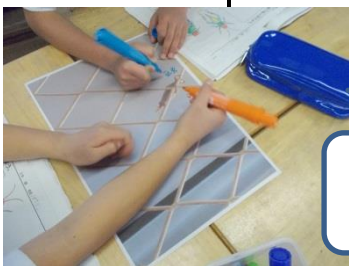
- ① 前時に撮影した写真を印刷し、観察カードをもとに昆虫の特徴など簡単に書き込む。
- ② 見つけた場所で仲間分けをする。(分析)
- ③ なぜその場所にいたのか、場所や昆虫の姿を元に考える。図鑑等を使用し、その考えを確かめる。(分析)
- ④ 大型テレビに映し出し、グループごとに発表、気づきやわかったことを共有する。
- ⑤ 生きものは、食べ物や住みかとなる植物とかかわりあって生きていることをまとめる。

(2) 授業の実際

問題

生き物は、どんな場所を選んで生きているだろうか。

生き物の写真に、観察した特徴を書きこんでみよう！



バッタは、畑のそばの金あみにはりついてたね！足の力が強くて、結局つかまえられなかった

このバッタは、ちょっと茶色っぽかったよ。いつも見つけるバッタは緑なのに。違う色のバッタもいるんだね。

畑で見つけた仲間は、緑色や茶色の生き物が多かったね。だから見つけにくかったよ。見つからないようにしているのかな？



カマキリのカマは触ると痛そうだったよ。虫を捕まえるのかな？

チョウはバッタやカマキリと違ってきれいな色をしているのが多かったね。

トンボは長い棒のさきに止まっていたよ。一匹で空も飛んでいたね。

黄色い花にまぎれて、見つけにくかったね。

モンシロチョウも花の蜜を吸うから、このチョウも蜜が吸いたくて花の近くにいるのかな。

トンボを捕まえる時、足が棒にくっついていて取るのが大変だったよ。トンボは何を食べるのか調べてみよう。

生き物の特徴を調べ、その特徴とすみかを関連付けて考えられるのが、目指すべき姿だと考える。

この様子から、隠れられる場所で生活していると思います。

ノートの記述

指導のポイント

①前時に撮影した写真を活用し、すみかの様子と生きものの特徴を関連付けて考えられるようにする。
 ②自分たちが考えた理由が確かめられるように図鑑を用意し、適宜調べられるようにする。
 ③2人に1台カメラを持たせ、出来るだけたくさんの生き物の情報を集め、一般化しやすくする。

まとめ

生きものは、食べ物がある場所や、隠れられる場所に住んでいる。周りの自然とかがわって生きてい

第2次（2時間）

昆虫の身体づくりを観察し、1学期に学習したチョウの身体と比較しながらどのような特徴があるのかを理解する。

4 成果と課題

「それぞれが見つけた生き物を他者に伝える」という観点から、観察カードや発表だけでは伝わらなかった事柄を、写真を使うことでスムーズに伝えることができた。また、見つけた場所が違っても、「草むら」などとまとめるにも写真は効果的だった。今回はあまり昆虫が見つからなかったことから大きな写真に印刷し、グループで交流しながら特徴を考えられた。大きな写真だと発表後黒板に順次掲示することで昆虫の仲間分けができるので、全体もまとめやすかった。たくさんの昆虫を見つけた場合、活動時間が多く必要になることや、写真を数多く印刷する必要があることが課題である。

(羽鳥)